

千葉県がん対策推進計画の目標達成状況(緩和ケア 平成27年7月時点)

資料5-3

施策の体系			目標に対する進捗状況				達成状況 (%)	施策の方向	実施主体
大項目	中項目	小項目	項目	計画改定時点	目標(修正案) ＜平成29年度＞	現状値			
2 医療	(2) 緩和ケアの推進	① がんと診断された時からの緩和ケアの推進	緩和ケア病床	8病院171床 (平成24年度)	緩和ケア病床の増加 人口10万対△床	9病院191床 (平成25年度) 11病院235床 人口10万対3.8床 (H26年末)	-100-	相談や支援を受けられる体制の強化	県・拠点病院 県・関係機関 県・関係機関
								○緩和ケアに関する普及啓発を実施する	
								○病院・診療所のすべての医療従事者が連携して患者、家族をサポートする体制を強化する	
								○緩和ケアの重要な担い手である看護師養成の仕組みを新たに検討し、看護師のチームにより、患者や家族に緩和ケアの相談・情報提供ができる環境を整備する	
								○緩和ケアを迅速に提供できる診療体制の整備と専門的緩和ケアの体制整備と質の向上を図る	
		② 終末期の緩和ケアの推進	がん患者の看取りをする在宅療養支援診療所及び一般診療所の割合	10.0% (平成22年度)	経年ごとに上回る △%	H23 10.4% H24 12.1% H25 14.3%	-100-	在宅緩和ケアを担う人材育成	県 県 県及び関係機関 県
								○在宅緩和ケアに関する専門的な知識と技能を有する医療従事者を育成する	
								○在宅緩和ケアを担う人材育成に関して、有識者、患者、遺族、医師会、在宅療養支援診療所、拠点病院、関係団体等とともに議論を進める検討の場を設ける	
								○「在宅緩和ケア研修プログラム」を策定し、参加しやすい研修会開催方法や運用の工夫等を検討する	
								○介護職に対する研修及び終末期緩和ケアマニュアル等の作成を行う	
③ 在宅緩和ケアの推進	がん患者の看取りをする在宅療養支援診療所及び一般診療所の割合	10.0% (平成22年度)	経年ごとに上回る △%	H23 10.4% H24 12.1% H25 14.3%	-100-	多様な主体が参加できる地域の特性に応じたネットワークづくり	県 県 県・市町村		
						○地域の特性に応じたネットワークづくりについてそれぞれの地域で協議することを促進する			
						○地域の関係者が協議できる場を設定し、在宅緩和ケアを支えるしくみを検討し、病院の後方支援や訪問看護活動等、多職種連携を強化していく			
						○地域に必要な在宅緩和ケア・終末期緩和ケアの機能と役割を明確にしネットワークの強化を図る			
						在宅で終末期を過ごすことに関する情報提供及び意識の醸成		がん治療に携わる医療従事者 県及び関係機関 県 県	
○在宅医療への意識の醸成を図り、がん患者と家族に対して必要な情報を提供するとともに、在宅医療に関する選択肢を提示できるように理解を深める									
○治療医と緩和ケア医がともに議論を進める検討の場を設ける									
○地域の在宅緩和ケアに関する情報の集積を行い、がん患者と家族に対して必要な情報を提供する									
○在宅緩和ケア・終末期緩和ケアについて、がん患者と家族、医療従事者、福祉関係者だけでなく全ての県民の理解を深め、在宅緩和ケアについて共通の理解を持てるよう普及啓発する									